



GROUPE BPCE

一線を画する視点を備えた銀行・保険会社グループ

投資家向けプレゼンテーション

2017年6月

フランスの大手ソーシャル・レンダーへ向けた
初のソーシャル・サムライ・ボンド



免責事項

本プレゼンテーションには、BPCEグループの目的および戦略に関連した将来の予想に関する記述が含まれている可能性があります。そうした将来の予想に関する記述は、それらの特性から将来の出来事、取引、商品・サービスに結びついた推定、予測考察、目的および期待事項、ならびに将来の業績および相乗効果に関する推測に本質的に依存しています。

そうした目的が実現されるという保証は一切しかねます。それらの事項は、内在するリスクおよび不確実性次第であり、当グループ、その子会社、関連会社およびそれらの事業進展、当該セクターにおける傾向、将来的な買収および投資、マクロ経済状況および当グループが関わる主たる現地市場での市況、競合状態および規制環境に関連した推定に基づいたものです。記述されているような事態が発生するかは定かではなく、結果が現在の予測とは異なるものとなり期待された成果に多大な影響を及ぼす場合があります。実際の結果は、将来の見通しに関する記述で予想されるか示唆されたものとは著しく異なることがあります。BPCEグループは、いかなる場合であれ、そうした目的の変更または更新を発表する義務を負いません。

本プレゼンテーションにおけるBPCEグループ以外の当事者に関連するか外部情報源から入手した情報は、当グループにて自主的な検証を行っていません。当グループは、第三者情報に関して表明またはコミットメントは一切行わず、本プレゼンテーションに盛り込まれている情報や見解の的確性、公正さ、正確性または完全性に関する保証は一切しません。BPCEグループやその代表のいずれも、誤謬、脱漏、あるいは本プレゼンテーション、本プレゼンテーションの内容または本プレゼンテーションで言及されている文書や情報から生じた損害について一切責任を負うものではありません。

サムライ・ソーシャル・ボンドの最終的な手取金の使途は2017年6月20日付で公表されます。

このプレゼンテーション、その内容および関連する通信（以下「プレゼンテーション」と総称します。）は、ビー・ピー・シー・イー・エス・エー第（未定）回円貨社債（2017）（ソーシャルボンド）（2017）（以下「本社債」といいます。）の募集に関してビー・ピー・シー・イー・エス・エーにより作成され、使用されるものです。このプレゼンテーションは日本の金融商品取引法における目論見書ではありません。投資を検討している投資家は、本社債の購入に係る投資判断については、本社債の発行に関して作成された目論見書（以下「本件目論見書」といいます。）に含まれる情報のみに基づいて行う必要があります。本件目論見書は、大和証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、みずほ証券株式会社、ナティクス日本証券株式会社、SMBC日興証券株式会社の日本国内本店で入手可能です。

このプレゼンテーションは、情報提供のみを目的としており、いかなる投資判断の基礎となることを意図したものではなく、いかなる投資判断の基礎としてはなりません。このプレゼンテーションは投資調査や調査推奨ではなく、そのように取り扱ってはなりません。このプレゼンテーションに含まれる情報には概要のみが記載されています。本社債は本件目論見書のみに基づいて発行され、このプレゼンテーションの内容は、全面的に本件目論見書の内容の参照として作成されているにすぎません。いずれの当該本社債の投資家も、それぞれ投資判断を行なう前に、当該本社債に関する完全な情報を得るため、本件目論見書をお読みください。いずれの当該本社債への投資にもリスクが伴います。本社債への投資を検討している投資家は、特に投資家が留意すべき事項やリスク要因が記述された本件目論見書の項目に特に注意を払う必要があります。投資資金を借り入れにより調達した場合、負債を負うのみならず投資資金を失うリスクもあります。投資の価値は変動することがあります。

このプレゼンテーションはビー・ピー・シー・イー・エス・エーが作成し、著作権を有しています。

本資料の和文は添付の英文資料の翻訳であり、英文と和文とで意味または趣旨等について相違が生じた場合には、英文に従うものとします。

目次

1

グループBPCE
CSRポリシーがビジネスモデルに
組み込まれた協同組合グループ

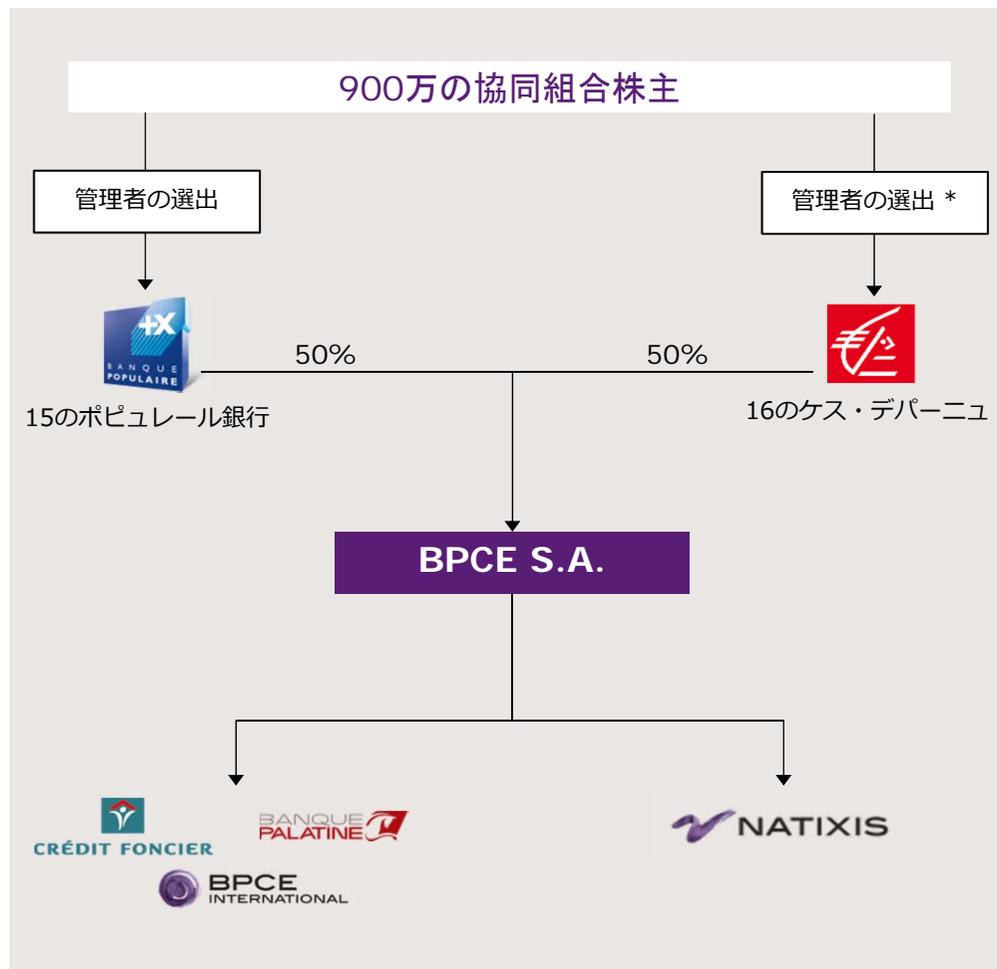
2

初のソーシャル・
サムライ・ボンド

グループBPCEの協同組合的統治体制

協力的な協同組合のアイデンティティ

フランスで2番目の規模を有する銀行グループであるグループBPCEは、明確な協同組合的特質を持つ。2つの協同組合ネットワーク（15のポピュラー銀行傘下銀行および16のケス・デパーニュ）は、それぞれの地域における中心的役割を担っている。



ネットワーク・ガバナンス：

各ポピュラー銀行の取締役会ならびに各ケス・デパーニュの運営および監査役会は、協同組合株主を代表し、各銀行の役員会および最高経営責任者による経営を監視する。

中央機関としてのBPCE S.A.：

BPCE S.A.は、銀行監督機関(ECB) との関係およびグループの戦略について責任を負う：

- 金融政策、ALMおよび市場での資金調達（優先無担保債務および劣後債務）
- リスク管理政策および継続的なコンプライアンス

フランスに約8,000の支店

ポピュラー銀行傘下銀行は、フランスの個人顧客、中小企業および自営業の専門家への強力なフランチャイズを持っている。

ケス・デパーニュは、フランスの個人顧客および地方自治体への強力なフランチャイズを持っている。

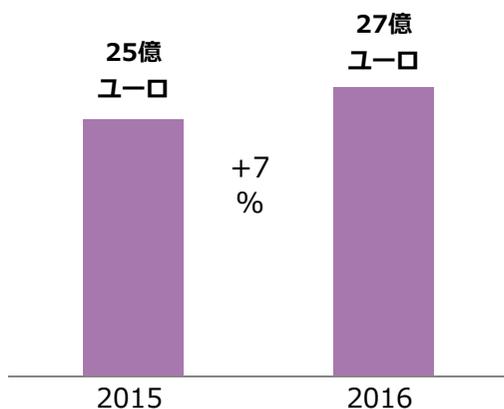
* ローカル・セービング・カンパニーを介して間接的に。

グループBPCEの地方協同組合銀行は、フランスの地元経済および地域に融資している

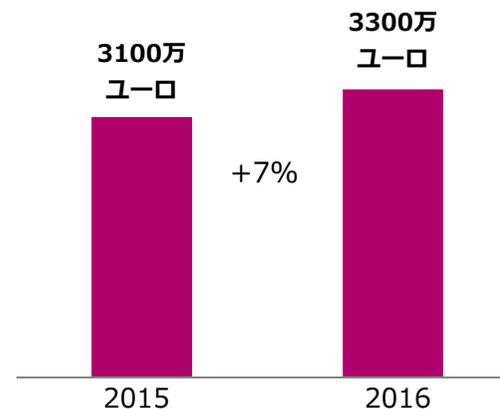
▶ グループBPCEは、買付、一般的な貸付および金融市場へのアクセスの促進によってフランス全国の中小企業を支援する。



▶ **社会経済および連帯経済への融資**
(社会経済および連帯経済に対する貸付の総額)



▶ **ポピュレール銀行傘下銀行およびケス・デパーニュによる 社会貢献活動**

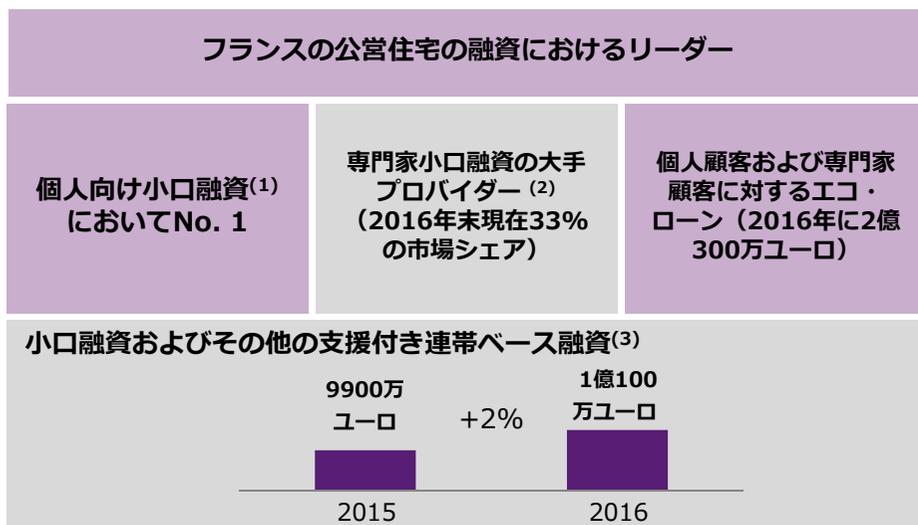


(1) 総普及率においてNo. 1 (出典：TNS Sofresの2015年の調査)。(2) 専門家顧客および個人起業家、二重および職務上の関係における普及率No.2 (出典：Pépites CSAの2015-2016年の調査)。(3) Codex 2014のSIREN番号を有し、INSEEによって承認されている31,031のサプライヤーのデータに基づく。(4) 中小企業(2016年の定義)：従業員数250人未満、収益50,000,000ユーロ未満。

グループBPCEの 責任ある融資および資金調達

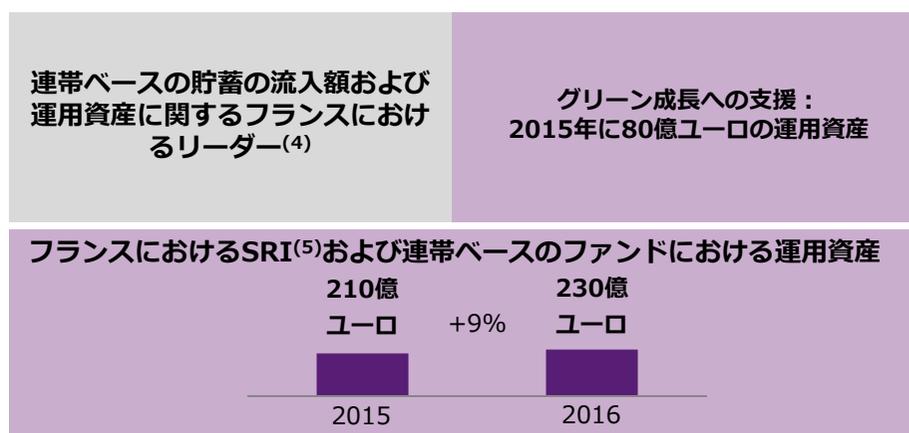
責任ある融資

▶ グループBPCEのリテール・ネットワーク



- ▶ コーポレート・投資銀行業務 (ナティクシス)
- 再生可能エネルギーへの融資におけるリーダーの1つ
- 世界中の石炭産業への融資からの撤退

▶ 資産運用 (ナティクシス)



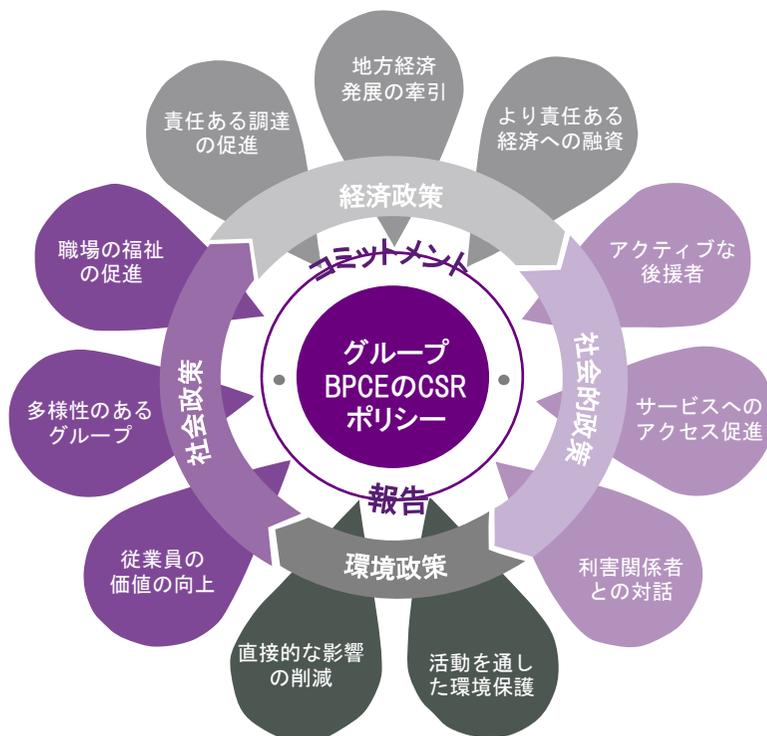
責任ある資金調達

- ▶ フランスの銀行の間で、BPCE S.A.は、欧州投資銀行の主要なパートナーである。
- ▶ 2015年に、BPCE S.A.は既に3億ユーロのEMTNグリーンボンドを発行した (別紙参照)

1) 社会的結合ファンド/ケス・デ・デポ (2) France Stratégieの2014年の調査/グループのデータ (3) 弱い立場または労働市場外にいる借り手への保証付融資 (4) Finansolの2016年の調査 (5) 社会的責任投資

グループBPCEは、意思決定プロセスにCSR（企業の社会的責任）を組み込んでいる

戦略計画の一環として、グループBPCEは、2016年に役員会および連盟によって承認されたCSRポリシーの実行を決定した。



グローバルCSRポリシーで明らかにされた10の最優先プロジェクトが2016年に開始された。2017年も継続して行われる。

- > 現地の社会経済のフットプリントの測定および推進
- > SRIおよび連帯ベース製品の販売
- > 責任ある調達の発展
- > 小口融資および金融包摂
- > 直接的な環境への影響の削減
- > グリーン成長戦略の立案
- > 職場における福祉、健康およびスポーツを促進するための革新的な方針の採用
- > コミュニケーションおよびCSR
- > 持続可能性の報告および評価
- > 報告およびCSRの啓蒙活動

グループBPCEはOEKOM の評価を受けている（2016年現在のESGスコア：C）。

BPCEは「最高ステータス(Prime Status)」を与えられ、業界内のリーダーの一つとして考えられている。



目次

1

グループBPCE
CSRポリシーがビジネスモデルに
組み込まれた協同組合グループ

2

初のソーシャル・
サムライ・ボンド

BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド

日本市場における革新的な発行体であるBPCE S.A.



BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド

BPCE S.A.の関与

- > BPCE S.A.は、ユーロ建グリーンボンド（2015年12月）の成功に続いて、初のソーシャル・サムライ・ボンドを募集する。
- > BPCE S.A.は、グリーンボンド原則がグリーンボンドおよびソーシャルボンドを根拠付けるにあたり、「プロジェクト」に基づくアプローチを採用する傾向にあることを十分に認識している。
- > リテール銀行の中核事業は、「プロジェクト」ではなく「顧客」に融資することである。エネルギー転換および社会的投資はプロジェクトファイナンスに限定されない。反対に、その大半は中小企業および公的機関の「通常事業」活動の結果である。
- > これらの機関は、プロジェクトファイナンスまたは資本市場のいずれも利用できないことが多い。
- > BPCE S.A.は、リテール銀行がその中核事業をもってソーシャルボンド市場において果たす役割があると強く確信している。この取引および選択過程は、BPCE S.A.にとって、エネルギー転換および社会的投資に対する同行の寄与に対して融資またはリファイナンスするための建設的な方法とならしめる第一歩であると考えている。

BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド 手取金の使途¹

- > BPCE S.A.は、本社債の発行による差引手取額を、グループBPCEネットワークの31の地方銀行に対して貸し付ける意向であり、これらの地方銀行が、当該差引手取額に相当する額を**教育、ヘルスケアおよび社会的活動**に専念した事業活動を行う顧客に対して融資し、またはローンの借換えを行うこと（適格ソーシャル・ローン）にのみ割り当てることを予定している。
- > 適格ソーシャル・ローンのプールは、経済活動コードの適格公認セクターに従い選ばれた、**2016年1月1日以降**に組成されたローンのみで構成されている。経済活動コードの適格公認セクターのリストは、発行会社のウェブサイトの専用セクションにおいて公表される。
- > 差引手取額は日本円で調達されるが、ユーロ建の適格ソーシャル・ローンに割り当てられる。**本社債の発行の差引手取額は発行時にユーロにスワップされる。**
- > 発行会社は、**発行による差引手取額**を発行日から**1年以内に割り当てる**予定である。ローンが期限前返済された場合またはローンが本社債の償還期日より前に弁済期限を迎えた場合、地方銀行は当該ローンを新規適格ソーシャル・ローンに置き換える。社債の残存期間中、発行の差引手取額が割り当てられるまで、発行会社は一時的にかかる金額を現金、現金同等物および／または市場性のある有価証券に投資する。
- > 本社債の残存期間中、発行会社は、自社のウェブサイトの専用セクションにおいて、以下の情報を提供する。
 - > （秘密保持を考慮した上で）**適格ソーシャル・ローン**を適格性の分野別に記載した、適格ソーシャル・ローンに対する本社債の**手取額の割当に関する年1回更新の最新情報**
 - > (i)手取額の適格ソーシャル・ローンへの実際の割当、および(ii)予定されている現金割当が、上記のBPCE S.A.の適格性基準をすべての重要な点において遵守していることを証明する**独立監査人の報告**

¹ サムライ・ソーシャル・ボンドの手取金の最終的使途は2017年6月20日に公表される。

BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド 選択の基準

「適格ソーシャル・ローン」は、以下の社会事業部門の一つに専念した事業活動を行う顧客のみに付与される。適格ローンのプールは、経済活動コード（フランス国立統計経済研究所により設定されたフランスにおける事業活動の分類（Nomenclature d'Activités Française Code） <https://www.insee.fr/en/metadonnees/nafr2/section/A>）の適格公認セクターに従い選ばれた、**2016年1月1日以降に組成されたローンのみ**からなる。

教育



- ▶ 就学前教育、初等教育および中等教育
- ▶ 中等後非高等教育および高等教育
- ▶ 成人向け教育
- ▶ その他教育および文化を支援する教育プロジェクトおよび活動

ヘルスケア



- ▶ 病院および個人診療所
- ▶ 保健施設および在宅介護活動
- ▶ 公的および私的医療活動
- ▶ 社会保障サービス
- ▶ その他の医療サービス

社会的活動

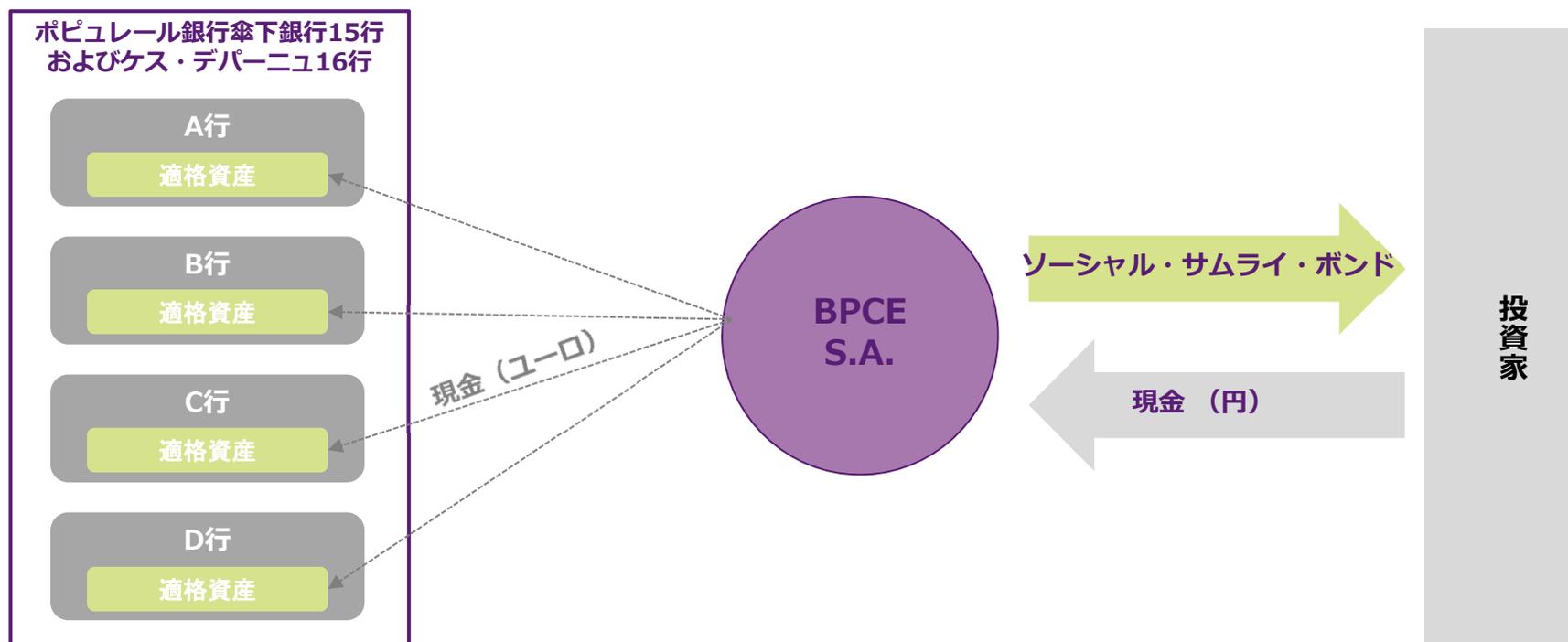


- ▶ 特定のサポートを必要とする個人および家族向け社会住宅
- ▶ 高齢者、子供および障害者に支援および援助を提供する公的機関および民間団体
- ▶ ソーシャルプログラムを実行する仕組み

BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド 手取金の管理

差引手取額は、適格ソーシャル・ローンに専念した事業活動を行う顧客に対して融資し、またはローンの借換えを行うことにのみ使用される。

適格資産のプールは、グループBPCEネットワークに属するポピュレール銀行傘下銀行およびケス・デパーニュの資産の中から選ばれ、2016年1月1日以降に組成される資産で構成される。



BPCE S.A.による初のソーシャル・サムライ・ボンド 報告

- > (秘密保持を考慮した上で) **適格ソーシャル・ローン**を適格性の分野別に記載した、適格ソーシャル・ローンに対する本社債の**手取額の割当に関する年1回更新の最新情報**
- > (i)手取額の適格ソーシャル・ローンへの実際の割当、および(ii)予定されている現金割当が、上記のBPCE S.A.の適格性基準をすべての重要な点において遵守していることを証明する**独立監査人の報告**

別紙

BPCE S.A.の初のグリーンボンド取引 3億ユーロ – 7年満期



タームシート

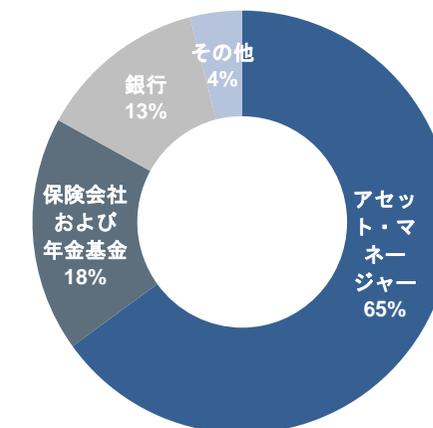
発行体:	BPCE S.A.
地位:	無担保シニア –グリーンボンド
発行体の格付:	A2/A/A
利率:	1.125%
満期:	7年
満期日:	2022年12月14日
発行規模	300,000,000 ユーロ (増額なし)
主幹事:	ナティクス (単独幹事)
リオファー・スプレッド:	ミッドスワップ+75ベース ポイント
リオファー価格:	99.6%
ISIN:	FR0013067170
ブック分析	
ブック規模:	12億ユーロ
注文数:	102

取引実行のハイライト

BPCE S.A.は、12月2日（水）、同行初のグリーンボンド取引（ミッドスワップ+75ベースポイントをスプレッドとする3億ユーロ7年満期無担保シニア債）をローンチし、条件決定した。発行プロセス終了時点で、取引の約55%がISR投資家またはファンドに割り当てられていた。

- 本社債の手取額は、フランス国内にのみ所在する再生可能エネルギー計画（風力、太陽光またはバイオマス）のリファイナンスを目的として、明確にナティクスの子会社であるナティクス・エネルジュコにのみ使用されている。
- BPCEは、11月27日（金）にパリで投資家面談を開催すること、および社会的責任投資家を対象とする電話会議を11月30日（月）に設定することを11月24日に発表した。同2日間で26名の投資家が参加した。
- 投資家の反応は極めて好意的であり、投資家は取引のストラクチャー、報告に対するコミットメント、およびナティクス・エネルジュコのビジネスモデルを高く評価した。BPCEは、ベンチマークを下回る規模にもかかわらず、12月1日（火）に強いlol（関心の表明）を得ることができた。
- 取引は12月2日（水）の午前9時30分（中央ヨーロッパ標準時）にミッドスワップ + 85ベースポイント程度のIPTIによってローンチし、公正価格はミッドスワップ+71ベースポイント程度と計測された。これは、現在の市況ではわずかな新発債プレミアムである。
- 取引は短時間で投資家の強い関心を集め、オーダー・ブックはわずか1時間後に5億ユーロを超えており、更新時には10億ユーロ超であった。この3倍超の募集超過率を利用して、ミッドスワップ + 75 / 80 ベースポイント（この範囲内で価格設定される）が指針として発表された。スプレッド感応度は低く、注文は入り続け、オーダーブックの締切時には12億ユーロに達した。102名の投資家が関わった。最終的にスプレッドはミッドスワップ + 75ベースポイントで固定し、新発債プレミアムは4 / 5 ベースポイントであった。
- 分布については、アセット・マネジャーが割当の65%を占めて取引を牽引し、これに保険会社および年金基金（18%）および銀行（13%）が続いた。
- 国別では、フランスが36%を占めて牽引し、これに英国およびアイルランド（24%）、ドイツおよびオーストリア（11%）、北欧および南欧（それぞれ8%）、ベネルクス諸国（5%）およびスイス（4%）が続いた。
- 本取引は、持続可能な開発および再生可能エネルギーに対するグループBPCEの強いコミットメントが認められたことを示している。

投資家別分布



地域別分布

